勝浦市議会議員 資本かつみ 議会報告

発行者: 市民市政会 鈴木克己 (勝浦市植野1448)

かつみHP

市政の現状 第17号

令和7年4月

3月市議会において審議された議案及び令和7年度 当初予算など、市民の皆様にお伝えすべき事項をご報 告いたします。



10年後の年間出生者数目標を50人とした取り組み対策

子供出生数が減少していることから、「安心して産み、育ち、暮らせる環境の実現」に取り組む対策として、令和7年3月議会で「勝浦市こども未来応援基金条例」が可決され、補正予算で全額ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)から基金に4億5千万円を積み立て、この基金を元に10年後の目標達成のための子供子育て事業を行うとのことです。

基金とは?

基金は、特定の目的のために準備された元手となる資金のこと。

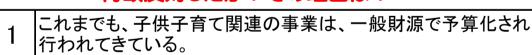
直近5年の年間出生数の推移

令和2年				
51人	46人	49人	38人	29人

この事業に対する市長の考え、事業への取り組みは4月11日発行の「広報かつうら」4月号に詳細が掲載されています。

私は、提案された基金条例及び基金積立の必要性に疑問を感じたため反対しました。

何故反対したか?その理由は!





反対討論

- 2 特別に基金を積み立てて行うことは、市財政のますますの硬直化につながる。
- 3 こども未来応援基金事業により固定した事業を行うより、その時点での柔軟な子育 て事業を行うことこそが必要ではないかと思う。
- 4 子供の人口増加策も必要だが、生活利便性が非常に悪い今の状況を先ずは立て 直していかなければ、人口減少への歯止めは見込めないのではないかと思う。
- **5** 基金積立の原資(元となるお金)4億5千万円全額が、ふるさと応援寄付金であることに対して、市民の理解が受けられるか疑問が残る。

こども計画に掲載された出生の将来目標値

令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
33人	36人	40人	44人	48人	53人



勝浦市こども未来応援基金事業により、向こう10年間の事業を固定して行うより、その時点に於いて柔軟に対応した子育て事業が必要ではないか。

今行うべき対策は、子育て事業を行うことも必要ですが、その前に若い世代の 方々の流出をいかに抑制するか、生活利便性の向上とそのための施策に重点を置く 対応が最も重要ではないかと思います。

令和7年度一般会計予算

予算額は、139億1, 100万円 (昨年より9.1%の増額)

令和7年度の一般会計当初予算額は、

これまでに例のない最高額の予算となりました。

市は何かにつけて、市民要望に対しては、予算がない、大変厳しい財政状況だと言っておりますが、何ら特別な事業がないのに、令和7年度の予算は過去に例がない最高額。予算の編成に疑問を持っています。

新年度予算の概要は、広報かつうら4月号に詳細が掲載されております。

令和7年度一般会計当初予算の中での新規事業及び拡充事業等の主なもの

1 昨年10月より3台で運行し、豊浜地区まで運行地域を拡充している。			
2 子育て世帯向け移住促進のための移住体験滞在住宅の借り上げ料借家は、月額50,000円 × 10か月 × 6棟 解体工事:保健福祉センター解体撤去工事費 9,239万円 保健福祉センターが令和6年度をもって廃止となったため、建物を解体する工事費 改修工事:ゴミ焼却施設改修事業費 8億817万円 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業:漁業協同組合経営支援事業 539万円			
借家は、月額50,000円 × 10か月 × 6棟 解体工事:保健福祉センター解体撤去工事費 9,239万円 保健福祉センターが令和6年度をもって廃止となったため、建物を解体する工事費 改修工事:ゴミ焼却施設改修事業費 8億817万円 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業:漁業協同組合経営支援事業 539万円			
3 解体工事:保健福祉センター解体撤去工事費 9,239万円 保健福祉センターが令和6年度をもって廃止となったため、建物を解体する工事費 改修工事:ゴミ焼却施設改修事業費 8億817万円 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業:漁業協同組合経営支援事業 539万円			
3 保健福祉センターが令和6年度をもって廃止となったため、建物を解体する工事費 4 改修工事: ゴミ焼却施設改修事業費 8億817万円 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業: 漁業協同組合経営支援事業 539万円			
保健福祉センターが令和6年度をもって廃止となったため、建物を解体する工事費 改修工事: ゴミ焼却施設改修事業費 8億817万円 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業: 漁業協同組合経営支援事業 539万円			
4 主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業: 漁業協同組合経営支援事業 539万円			
主にクリーンセンターのゴミ焼却部分の延命化のための工事が中心となる事業 新規事業:漁業協同組合経営支援事業 539万円			
5			
新規事業: 温泉観光活性化事業 300万円			
6 温泉施設の維持管理を支援することによる観光振興のための事業			
補助率2分の1 1施設当たり100万円×3施設			
* 実行委員会に対する補助金で以前のような花火大会を実施するため			
新規事業 : 孤立集落対策事業 6,000万円			
© 災害時に孤立可能性のある集落に対する対策で30地区を予定している			
9 新規事業: 芸術文化交流センター管理運営経費 1億1,313万6千円			
* キュステの指定管理者に対する指定管理料			

※予算に関する疑問点などは、財政課、担当課にお問い合わせください。

予算審查特別委員会

予算審查特別委員会委員

(敬称略)

寺尾重雄(委員長)•長田悟•狩野光一•久我惠子•松崎栄二•渡辺ヒロ子•鈴木克己

新年度の予算は、3月議会中に予算審査特別委員会を設置して審査を行います。

予算審査特別委員会では、令和7年度の一般会計当初予算の他、国民健康保険会計など4つの 特別会計について審査を行いました。

委員会は3日間行われ、2日間は各会計に対する質疑で、3日目は、全体を総括した質疑として市 長、副市長、教育長からの答弁を受け、討論の後、採決を行います。

私、鈴木は財政状況で3項目、一般会計歳入で6項目、歳出で16項目、国保特別会計で3項目の質問。総括質疑では、市長、副市長及び教育長に対し、予算全般の考え方についての質問を行い、その結果、予算編成に再考すべき点が、多くあると思う事から反対を表明しました。

反対討論要旨

1

当初予算は、年度全体の骨格をなすため、市行政の全分野において、市民福祉の充実と向上のための予算でなければなりません。

勝浦市は周辺自治体と比較しても人口減少が著しい状況であること から社会活力が低下しているのが今の現状です。

今やるべき政策は、基幹産業である、農業、漁業、観光業の更なる 活性化に一段と強い後押しをするための予算形成ではないか。



反対討論

- 2 市長の強い思いがある子供子育てへの事業は、市の経済的発展の上に成り立つものではないかと思う。
- 3 ふるさと応援寄付金は減収する見込みとなっていますが、ふるさと応援寄付金に対する取り組みに対し、さらに強化されることが必要であると思います。
- 4 クリーンセンターの改修は、市民生活に欠かせないごみ処理施設であり、最低でも今後8 年間は現状の施設維持が必要なことからやむをえない予算措置です。
- 5 民生費では、子供子育て事業に傾き過ぎており、高齢者や障害者などに対する対応は旧態依然のままです。中でも、昨年度にデマンドタクシー利用料を1回500円に値上げしたにも関わらず、高齢者福祉タクシー券は、1枚400円のままです。何故、1枚500円にしなかったのか。高齢者に対しての気配りに欠けていると感じます。
- 6 商工費では、新規事業として温泉観光活性化事業が提案され、これまでも問題が提起されているプレミアム商品券事業を復活し、宿泊した観光客へのクーポン券配布など市内消費喚起への事業も盛り込まれていますが、市内消費の対象となる店舗が減少している中で、商店街活性化策は商工会に丸投げ状態で、具体的な対応が見えません。
- 7 結果として、予算配分について全体的に再考すべき点が多く見受けられるため、令和7年 度一般会計当初予算は新たに組み直す必要があるのではないかと思います。

元清海小学校の跡地活用事業者が決定

1	事業者	渋谷区代々木 (株)エス・ティー・ワールド(旅行業)
2	貸付期間	令和7年4月1日から令和17年3月31日(10年間)
3	貸付物件1	旧清海小学校の土地(11,498㎡)と校舎、体育館等建物
4	貸付物件2	旧鵜原保育所の土地(2,684㎡)と園舎
5	貸付料	土地は全体で年額180万円 ・ 建物は無料
6	予定事業	ワーケーション事業・教育事業・観光事業・マリンレジャー事業

これまで何度も募集し、事業者が決定しては撤退が繰り返されている元清海小学校の活用事業者が決定しましたが、10年契約?建物無料?年額180万円?・・何か釈然としないと思うのは私だけでしょうか?

3月議会の一般質問

議会での質問

かつうら海中公園再生計画の進捗状況及び関連する事案について

海中公園関係の質問については、新型コロナ禍が始まった令和2年7月に、現在稼働している「エデン」を建設するために、国の地方創生拠点整備交付金を活用した事業を行うためとして、国(内閣府)に提出した「かつうら海中公園再生計画」に掲載されていた事業についての進捗状況を伺いました。



提出された資料には、海中公園整備の他にフィッシャーマンズワーフ計画、朝市再生計画、まちの賑わい創出計画などを4つのフェーズに区切り、各フェーズを1期間5年で全体では20年かけて行いたいとの説明だったので確認をしたところ、「資料については、参考資料であり構想については今後、必要性を精査し検討する」との答弁であり、国に提出してある計画なのに全く責任感の無いものでした。

結果として、エデンの建設と周辺の整備だけで終わってしまっています。

海中公園再生計画は5年間の計画で、毎年事業評価を行うことになっていたにも関わらず、事業評価は最初の2年しか行われていないことが、質問により判明したため早急に検証するとの答弁がありました。

令和5年度に、エデンに隣接する家屋を含む土地を購入しているが、その後、何ら対応が 無いことから今後の利用計画について聞いた。

答弁では、令和5年に購入後、県や民間事業者などと有効活用について意見交換したので、その内容も踏まえ、今後利用方法を定めるとのこと。?????

ゴミ袋価格の引き下げについて

マイン は、今和3年と4年に価格引き下げのための予算措置が されたが、議会で対応に疑問視する意見があり値下げが実現できなかったので是非、市長の英断で値下げを実施して頂きたいがいかがか。

現在は、一般廃棄物収集運搬に係る経費が上昇しているため値下げに取り組めない。<mark>財政状況も非情に厳しく前向きな回答はできない</mark>。

お 知 5 せ

市政報告・意見交換会を開催します

日 時 令和7年5月14日(水)午後1時30分から4時半まで 場 所 キュステ 1 階 大会議室



2

Α

R7/2/5 報告会



R6/5/15 報告会

市議会議員の活動の1つとして、市民市政会(鈴木・岩瀬清)による市議会の報告会です。また、日頃からの市政に対してご要望やご意見なども直接お伺いし、意見交換をしたいと思います。参加要件に制限はありませんので気軽にお越しください。

市政に関するご意見をお待ちいたしております。 電話・FAX又はメールで 電話:0470 - 76 - 3232 FAX:0470 - 76 - 2209 e-mail: p_mint@live.jp